

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	合志市内保育士等研修助成事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 竹志
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	緒方 紀史子
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援			所属班	保育班	(内線)	1182
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 11448	根拠法令	児童福祉法、合志市保育の実施に関する条例、安心子ども基金管理 運営		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内認可、認可外保育施設、幼稚園等の保育士等を対象に実施する研修会開催費用の助成を行う。</li> <li>・保育士に対しての研修については、国は各自治体での保育士等研修を推進しているところである。</li> <li>・安心子ども基金で保育士等研修に該当する事業があり、平成20年度から3カ年のみの事業であったが、平成23年度以降も事業継続となり、平成27年度からは国庫補助事業となった。</li> <li>・しばらくは、認可保育施設、地域型保育施設、認定こども園はもとより認可外保育施設及び幼稚園等へのニーズは高いと考えられ、保育士等の質の向上は必要である。</li> </ul>
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付:状況報告書・事業計画書)の受付、審査②交付決定伺い③交付決定通知書④実績報告書(添付:事業実績調査)⑤補助金交付請求書⑥補助金支払(支出負担行為、支出命令書等)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・保育士会からは質の高い中央の講師を招聘しての講習会や研修会を実施したいとの要望がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	市内の保育施設(認可、地域型、認可外、認定こども園)、幼稚園の保育士等を対象とした研修会開催費用の助成を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		前年度と同様に市内の保育施設(認可、地域型、認可外、認定こども園)、幼稚園の保育士等を対象とした研修会開催費用の助成を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 研修会に参加した保育士等数		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内認可、認可外保育施設、認定こども園及び幼稚園等の保育士等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 市内認可、認可外、幼稚園等の保育士等数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	保育士等の資質向上ができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 研修会参加率(研修会に参加した保育士等数/市内保育士等数)
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
保育士の質の向上のための研修会開催であるため、対象の保育士等の研修会参加率とした。また、目標設定については保育士等全ての参加は難しいと考えるため90%と設定した。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込
① 活動指標	人		191	230	400	230	400	400	400	400
② 対象指標	人		458	436	440	440	440	440	440	440
③ 成果指標	%		41.7	52.8	90	52.3	90	90	90	90
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	100	100	100	100	100	100	100
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	100
		(A) 事業費計	千円	200	200	200	200	200	200	200
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	118	358	236	239	239	239
人件費	人		4	1	2	2	2	2	2	
延べ業務時間	時間		110	30	90	60	60	60	60	
トータルコスト(A)+(B)	千円		200	318	558	436	439	439	439	

事務事業名	合志市内保育士等研修助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 市認可保育園連盟保育士会が主体となり現場に沿った内容の研修会を開催している。市内の保育施設（認可、地域型、認可外、認定こども園）、幼稚園の連携を図り、今後も積極的な参加を呼びかける必要がある。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 保育士等研修会であるため、市認可保育園連盟保育士会が主体となり市内認可保育施設のほか、市内の地域型保育施設、認可外保育施設、認定こども園、幼稚園にも積極的に呼びかけてもらうことにより更に達成度が上がる見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 保育士等研修会であるため、市内認可保育施設だけではなく、市内の幼稚園や認可外保育施設等に積極的に参加を呼びかけ、参加率の向上を図ることが必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 保育士等の職員を対象とした研修であり、質の向上のためにも研修をバックアップする必要がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 保育士等を対象とした質の向上のための研修でもあるため、今後も研修をバックアップする必要があり削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 保育士会が主体となり研修企画開催をしており、最低必要な人員での対応である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の保育に関わる保育士等の研修であるため適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市内の保育に関わる保育士等の研修であるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

市認可保育園連盟保育士会が主体となることにより、現場に必要な研修が企画でき、行政とのタイアップにより質の高い講師を招くことにより、充実した研修会を実施することが出来た。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						